



しあわせが実感できる社会へ

平成27年度

施政方針

大家族の一員として
自分自身で動いてみませんか



高浜市長 吉岡初浩

※本文は、市議会3月定例会で行った施政方針演説を要約したものです。

「しあわせ」とは、人から与えられるものではなく、自分自身が何か達成感を得たときに感じるものかもしれません。また、自分だけで達成しても、満足感を誰かと共有できなかったら、その満足はしあわせに結びつかないのかもしれない。

顔がツナがり、人がつながることで、安全や安心、幸福感が生まれます。また、社会生活のあらゆる場面で、自分自身が動くこと、かかわることで満足感や幸福感が生まれます。

さあ、自分から動き、町内会やまちづくり協議会、ボランティアなど、大家族の一員として自分自身ができることから地域とつながってみませんか。

本年度に策定予定のしあわせづくり計画（第3次地域福祉計画）には、こうした市民の皆さんが自分自身でできることを取りまとめしていく予定です。

少子高齢化や人口減少の影響などにより、ものの豊かさを追求する成長社会の継続は望めません。しあわせを実感できる成熟社会への転換が必要になります。しあわせづくり計画は、成熟社会に向けての試金石として位置付けて策定していきます。

さて、本市の将来において、公共施設の約半数が築後30年以上経過し、老朽化対策は喫緊かつ最重

主要事業

Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

- ❖ 企業誘致の促進などに向けて、東部地区の整地工事や代替地に係る測量実施、北部地区の新たな工業用地の創出に向けての調査
- ❖ 産業を元気にしていくための支援のあり方を、現場の声を踏まえて、見直し・再構築
- ❖ 風水害・地震について「いつ・誰が・何を・どのようにする」といったタイムラインを意識した「行政行動計画」の策定
- ❖ タイムラインの要素を取り入れた「地域行動計画」を町内会やまち協と協働で策定し、防災訓練に活用
- ❖ 水害ハザードマップの作成
- ❖ 名古屋大学減災連携研究センターへ市職員を派遣
- ❖ 地域防災リーダーの養成
- ❖ 「防犯ネットワーク会議」を設置し、地域や警察などと連携しながら犯罪防止活動を実施
- ❖ 道路・橋梁の安全点検と修繕・改修
- ❖ (仮称)論地どんぐり公園の整備
- ❖ (仮称)高浜緑地の整備を県と調整して推進
- ❖ 学校と連携した環境学習の充実
- ❖ 市民との協働による環境施策の研究

Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- ❖ 「第6期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」の推進
- ❖ 介護予防・日常生活支援総合事業を実施
- ❖ 市民や事業者と連携し、健康自生地を拡大
- ❖ 認知症対策として、60歳以上の市民を対象に高齢者機能健診「脳とからだの健康チェック」を実施
- ❖ 「高齢者見守りSOSネットワーク」を構築
- ❖ 医療的ケアが必要な障がい児が通所できる施設整備の準備、グループホームなどの施設支援策の検討
- ❖ 災害時要援護者管理システムを活用し、地域と連携した避難行動要支援者の支援体制を整備、福祉避難所の受入体制の整備
- ❖ 妊娠期から子育て期にわたる支援のワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」をこども発達センターに併設
- ❖ 母子ショートステイ、訪問支援などの産前産後サポート事業を実施
- ❖ 生活困窮者自立支援として、就労準備支援、家計相談支援、学習支援などの包括的な支援の実施